

地方自治情報化推進フェア2024

ORACLE

ガバメントクラウドにおけるデータ・生成AI活用の未来と 宇和島市における先行事業とその後の姿 ～CSPの変更～

2024年10月9日

日本オラクル株式会社

クラウド事業統括

公共・社会基盤営業統括 公共営業本部

デジタルガバメント推進部

本日の内容

1. 日本オラクルのガバメントクラウドに対する取り組み
2. 宇和島市における先行事業の考察とその後の姿 ～CSPの変更～
3. ブースのご紹介

本日の内容

1. 日本オラクルのガバメントクラウドに対する取り組み
2. 宇和島市における先行事業の考察とその後の姿 ～CSPの変更～
3. ブースのご紹介

弊社概要と地方公共団体での活動

日本オラクル株式会社は、米国オラクル・コーポレーションの日本法人として1985年に設立されました。国内を拠点とした情報システム構築のためのソフトウェア・ハードウェア製品、ソリューション、コンサルティング、サポートサービス、教育の事業を展開しています。

Oracle Corporation

設立：1977年6月16日
売上高：\$530億ドル（8.3兆円）
顧客数：43万社、175か国
従業員数：約13万5,000人
開発者数：38,000人
CEO：Safra A. Catz



主要事業

- Oracle Master資格取得者：国内累計で27万人
- オラクルの顧客コミュニティや開発者コミュニティ：500万人
- 18,500件を超える特許
- 41,000名の開発者と技術者
- 過去10年間の研究開発費：640億米ドル
- **Topic**：日本のクラウド・コンピューティングとAIに80億ドル超を投資

日本オラクル株式会社

設立：1985年10月15日
売上高：244,542百万円
顧客数：約60,000社
従業員数：約2,400人
取締役 執行役 社長：三澤 智光
東証スタンダード市場：2000年4月28日上場



地方公共団体での活動状況

- 30年に渡る地方公共団体への支援
- **1741市区町村、47都道府県ほぼ全ての団体様と取引実績有**
- 多くの住民情報、内部事務アプリケーションにOracle DB採用
- 多くの自治体クラウドの基盤として実績あり
- ISMAP認定の取得
- ガバメントクラウドに採択



ガバメントクラウド推進支援の強化

政府・自治体職員様、パートナー企業様向けの取組みを進めています

デジタル庁およびガバメントクラウドへの体制強化

- デジタル・ガバメント推進部の設立

ガバメントクラウド推進支援の強化

- ガバメントクラウド専用の、OCI情報提供サイトを開設 (参照QR)
- ガバメントクラウド用リファレンスアーキテクチャーの提供
- 政令市から市区町村 (1/4以上) と幅広くOCIを採用
- モダン化支援CSPとしての経験を活かしR2実装を支援
- 政府・自治体職員向け学習パス、研修プログラムを開発

パートナー様協業のさらなる推進

- クラウドネイティブ実装に向けた、パートナー様向けキャラバン実施
- 地場IT企業様、ASP様との共創セミナー実施
- 無償の資格取得パスの提供
- 20以上のASP様がOCIを採用予定



地方公共団体市場でのガバメントクラウド関連リリース



クラウド基盤にOCIを採用
e-SUITEの基盤にOCIを採用しガバメントクラウド移行対象業務のOCI対応で連携を強化

株式会社ジーシーシー 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/oracle-japan-strengthen-cooperation-toward-transitioning-local-government-2023-02-10/>



ガバメントクラウド移行に向け連携
総合行政システムをOCIで実装し、クラウド・ネイティブなアプリケーション開発を推進

株式会社RKKCS 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/rkkcs-and-oracle-japan-strengthen-cooperation-2023-04-13/>



健康管理システムのOCI対応
全国700以上の地方公共団体で利用されている「健康かるて」のガバメントクラウド対応にOCIを選択肢として加えた

株式会社両備システムズ 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/ryobi-systems-and-oracle-japan-collaborate-2023-10-25/>



ガバメントクラウドで稼働開始
2024年7月にOCIガバメントクラウド上で14業務の基幹業務システムの稼働を開始

群馬県富岡市 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/tomioka-city-migrates-mission-critical-systems-to-government-cloud-oci-2024-08-07/>



総合行政情報システムOCI対応
コストメリットを重視した「STARS」のOCI対応とパートナー様パッケージ製品を含めたOCI運用をフルサポート

株式会社HDC 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/hdc-and-oracle-japan-strengthen-collaboration-2024-04-05/>



総合行政のモダン化に向けた連携
上砂川町様のご協力のもとモダンアプリ提供の準備。複数の上級資格者の支援により安心安全の移行支援を実施

株式会社エイチ・アイ・ディ 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/hid-and-oracle-japan-strengthen-collaboration-to-modernize-comprehensive-administrative-systems-2024-01-12/>



住民情報システムのモダン化と共同研究開始
標準化システムのOCI搭載に向けて連携強化

和歌山県和歌山市 様
紀陽情報システム株式会社 様
<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/wakayama-city-to-migrate-mission-critical-systems-to-the-government-cloud-2024-07-08/>



政府・自治体向けHPで多数のインタビュー記事を掲載
地方公共団様・ベンダー様のインタビュー記事を多数掲載

<https://www.oracle.com/jp/cloud/government/#:~:text=%E8%A9%B3%E3%81%97%E3%81%8F%E8%AA%AD%E3%82%80-%E6%9C%89%E8%AD%98%E8%80%85%E3%81%AB%E8%81%9E%E3%81%8F%E8%87%AA%E6%B2%BB%E4%B0%93%E6%9C%80%E5%89%8D%E7%B7%9A%E3%81%AE%E7%8F%BE%E7%8A%B6%E3%81%A8%E8%AA%B2%E9%A1%8C-%E4%B8%80%E8%88%AC%E7%A4%BE%E5%9B%A3%E6%B3%95%E4%BA%BA>



政府・地方公共団体向けOCI ページ <https://www.oracle.com/jp/cloud/government/> ガバメントクラウドに関わるお客様に向けて各種情報提供（タスクリスト・インタビュー記事等）

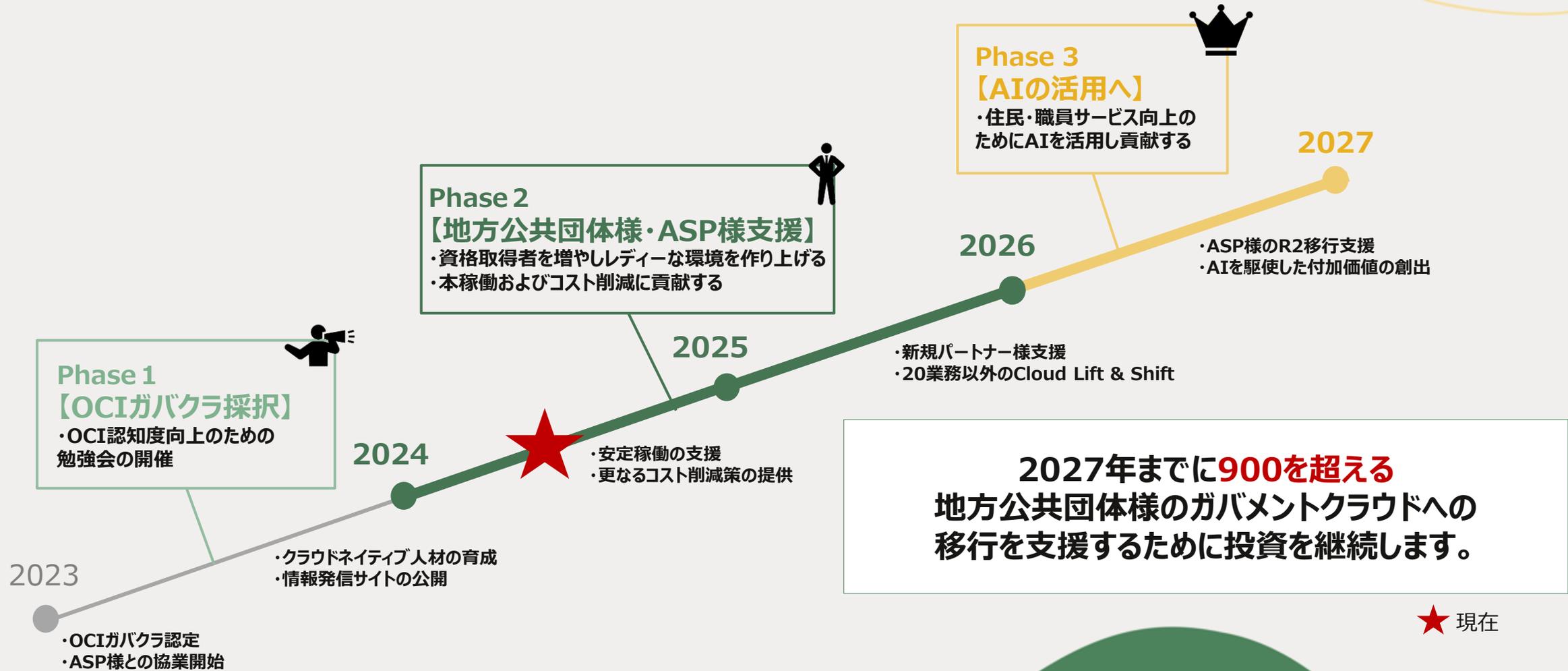
オラクル 地方公共団体  様々なドキュメント取得可能→



<https://www.oracle.com/jp/cloud/government/>



Oracleが目指す ガバメントクラウドプロジェクトの展望



Oracle Cloud Infrastructure が採用される理由

エンタープライズ利用に最適なクラウド環境

現行システムを移行できる？

パッケージもスクラッチもあるし、
Oracle Database以外にもあるけど…

1

高性能・高品質な環境へ 円滑に移行

- 大容量データの**高速かつ安定した処理**を可能とする技術群
- **クラウド移行に精通した専任のエンジニアが支援**
- 現行システム移管にとどまらず、更なる**最適化、コスト削減、データ活用(EBPM)**を実現する基盤へ

セキュリティは大丈夫？

インターネット上のパブリッククラウドで、
ハッキングや情報漏洩のリスクは？…

2

データベースで培われた 最高度のセキュリティ

- **データ中心、セキュリティの自動化**という基本思想。各種セキュリティ機能を**基本機能として提供**
- ISMAPはもちろん、**各国の厳しいセキュリティ基準をクリア**
- マイナンバー含む個人番号利用事務系でも導入実績あり

コストはどれだけ安くなる？

従量課金による、**予算超過リスクは？**
オラクルって高いんですよね？

3

予算超過リスクなしの 課金体系

- **シンプルかつ、真のクラウドの柔軟性**を実現
- 品質に加え、**価格競争力も業界最高水準**
- 自動化機能により**運用管理コスト(人件費)も削減**

ガバメントクラウドにおける地方公共団体様のコストに対する課題と解決策



地方公共団体様

地方公共団体は予算で動いているため費用の増減は許容できない。さらに**為替変動**などの影響を受けることを非常に懸念している。



地方公共団体様

予測できない費用がパブリッククラウドにはあり、費用試算ツールでも算出できないものがある。そのような費用にどう対応すべきか。



地方公共団体様

物価高もあり過度な値上げなどが取り上げられる中で、長期利用割引やボリュームディスカウント等**費用メリット**を享受できるか。

OCIは**円建て**でのご請求となり、**契約期間中の為替の変動を受けません。**

さらにほぼ全てのサービス（サードパーティー製品を除く）の**価格が固定**されます。



Oracle

印刷や連携の際の外部転送料、ストレージのIOPS費用がそれに当たると考えます。それらは**無償または追加の費用が必要としない**形態となっており、試算結果に近い運用が可能となります。



Oracle

弊社では長期継続割引（リザーブドインスタンス等）の考え方はなく、クラウドに最適な**ボリュームディスカウント**を提供します。今後、より戦略的なディスカウントの実施を検討しております。

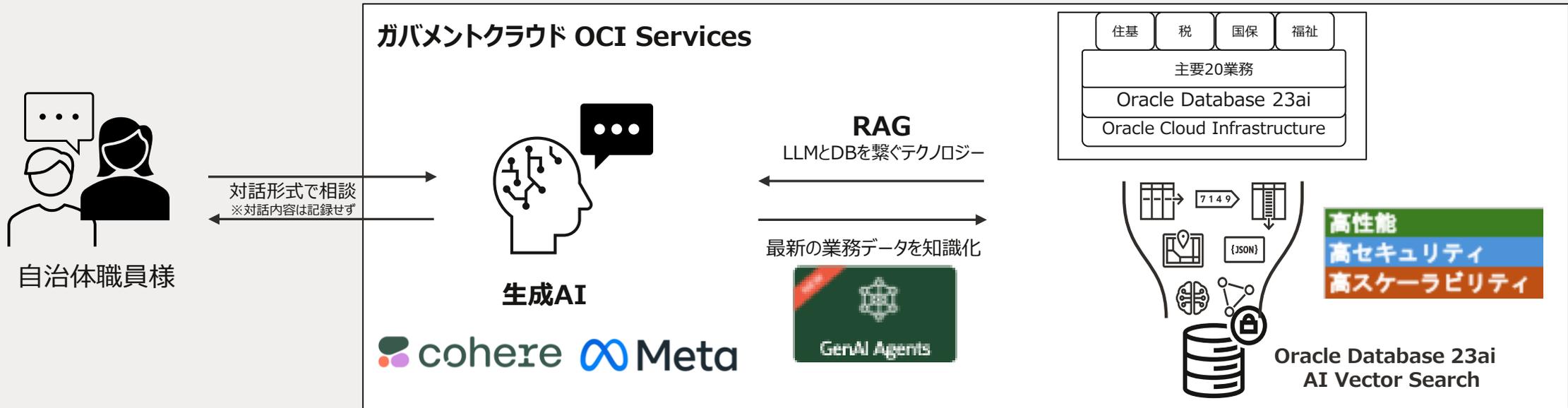


Oracle

Oracleが考える自治体市場におけるAI利活用の将来～究極の生産性向上～

基幹系アプリを介して職員様が問い合わせを実施し業務データに基づいた回答やレコメンドを出すことを実現
(例えば・・・)

- XX市で申請したXXさんは生活保護不正受給の可能性が70%ある
- XX市でXXさんはXXの補助金を受けようとしているが住民税の支払いを現在滞納している



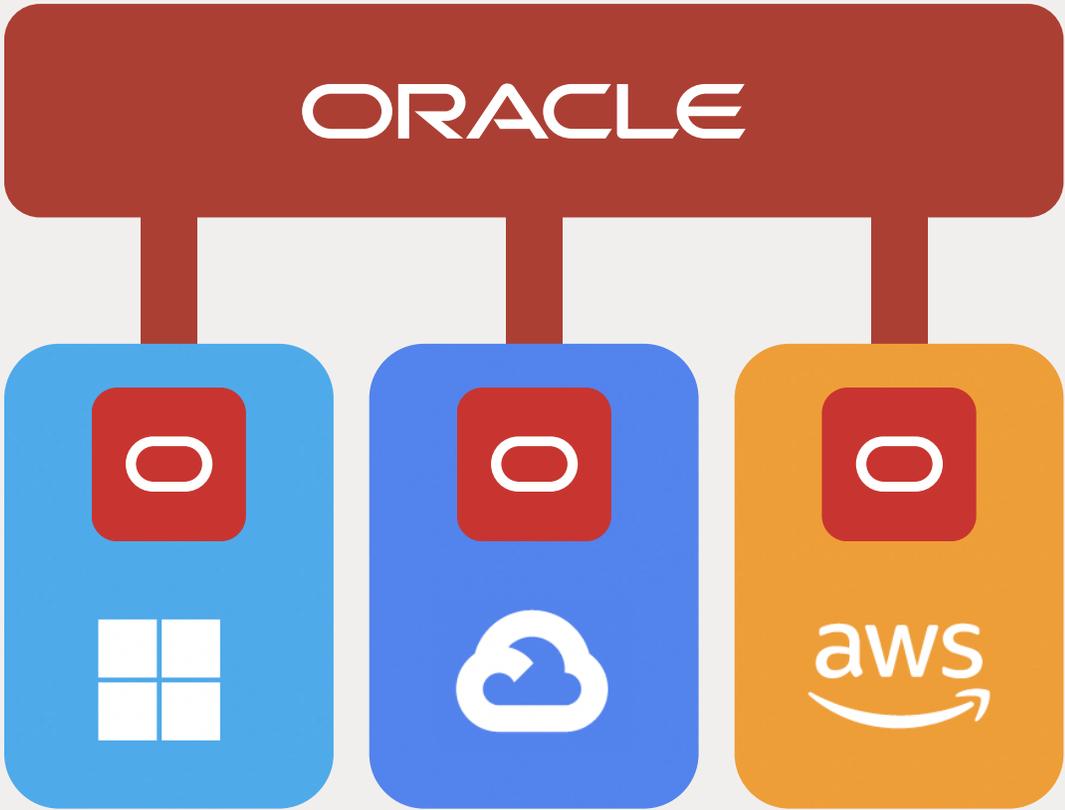
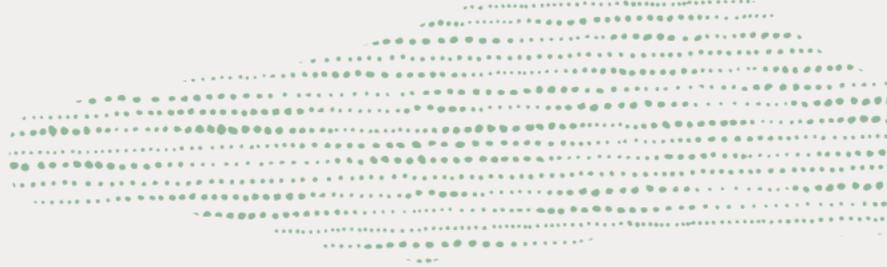
+ a

ダッシュボードやレポート作成
Oracle Analytic Cloud

データ入力フォームの作成 (ローコード)
Oracle APEX

予測モデルやデータ分析
Data Science Service





業界をリードするデータベースクラウドサービスが
全てのハイパースケーラーで利用可能に



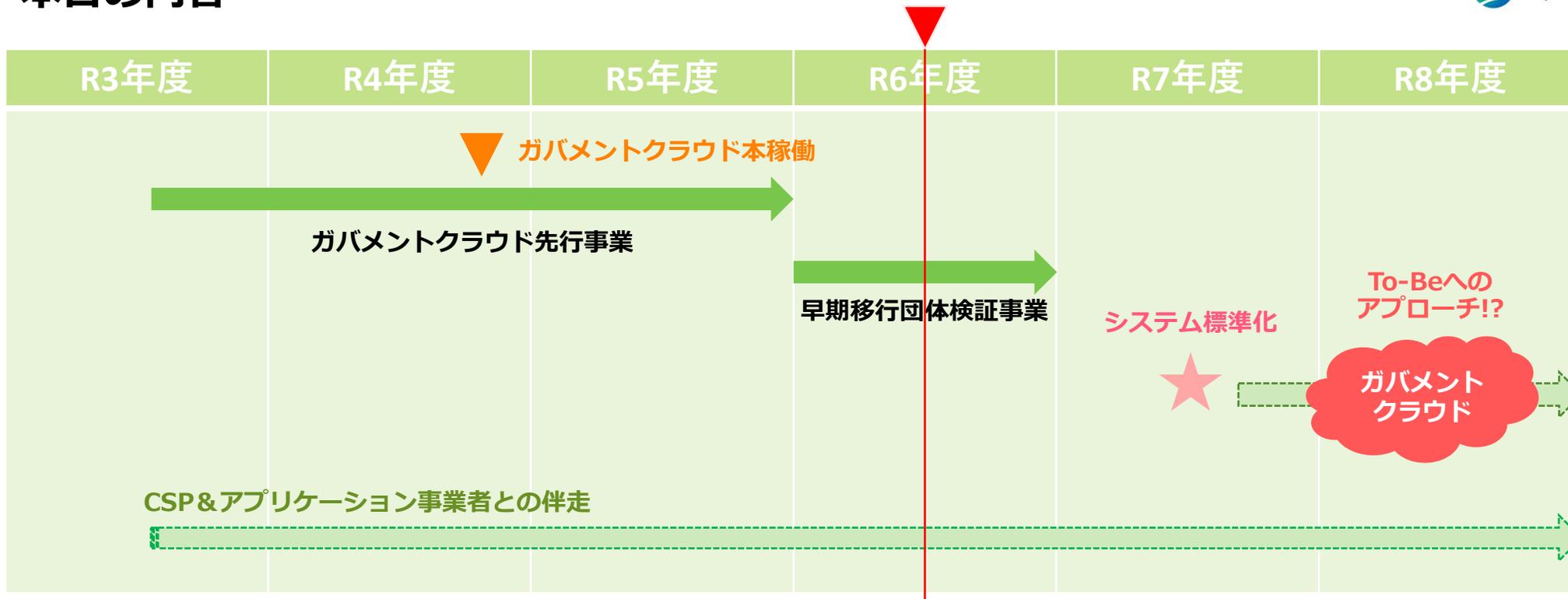
本日の内容

1. 日本オラクルのガバメントクラウドに対する取り組み
- 2. 宇和島市における先行事業の考察とその後の姿 ～CSPの変更～**
3. ブースのご紹介

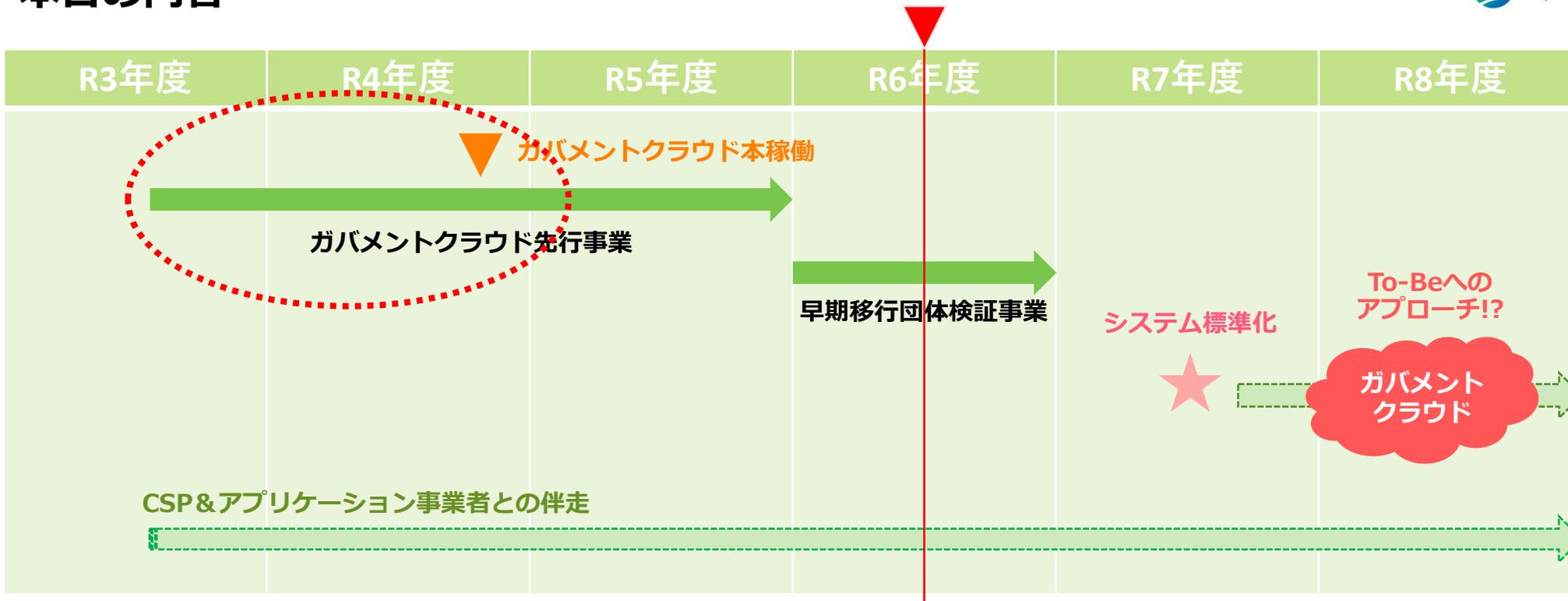
宇和島市における先行事業とその後の姿 ～CSPの変更～



令和6年11月9日
宇和島市企画政策部
デジタル推進課



1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介（R3～R4年度ガバメントクラウド先行事業）
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. CSP事業者に期待すること
5. ガバメントクラウドに期待すること（付加価値をどのようにして高めていくか）



1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介（R3～R4年度ガバメントクラウド先行事業）
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. CSP事業者に期待すること
5. ガバメントクラウドに期待すること（付加価値をどのようにして高めていくか）

5. 宇和島市

人口(令和3年7月時点)	71,933人	評価した点 低コストで、主要 17 業務をすべて含む合計 55 システムをリフトしての検証が可能。
システム構成	オールインワンパッケージ	
リフトするシステム(基幹業務(付属密接))	17業務(38システム)	
協力開発事業者	株式会社RKKCS	
令和3年度概算費用(円)	1,830万	
令和4年度概算費用(円)	6,590万	

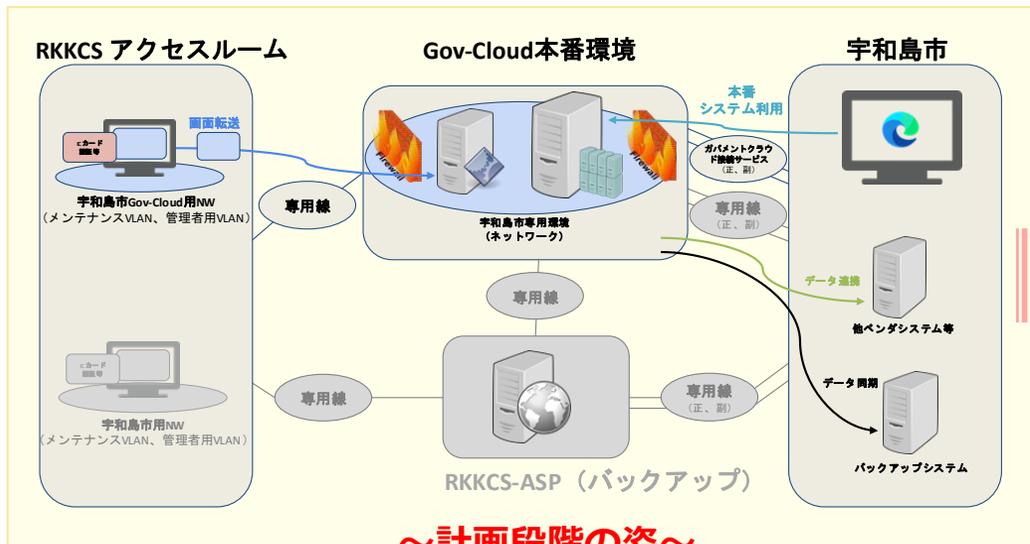
②ガバメントクラウドにリフトするシステム

宇和島市が採用している総合行政システムは共通基盤、宛名(住登外)管理、口座情報など各業務で共通的に利用する情報において、密接な連携を行っていることから「(4)公営団体のシステムの現況」にお示ししております全ての業務システム(「宇和島市導入システムの内、標準準拠システムに予定されている17業務の業務システム」及び「宇和島市導入システムの内、その他の業務システム」)をリフトします。

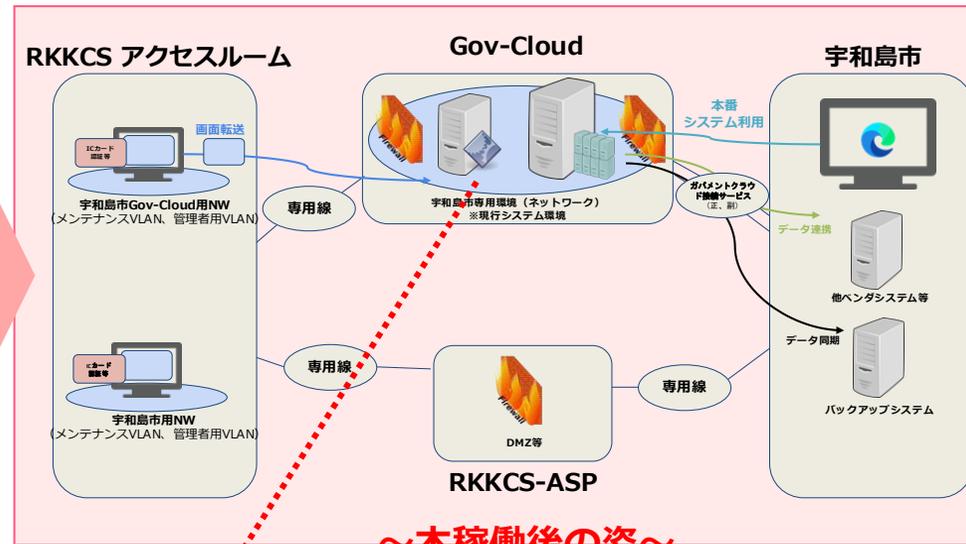
標準準拠システムに予定されている17業務の業務システム					その他の業務システム						
No	17業務システム の区分	リフト対象の 業務システム名	No	17業務システム の区分	リフト対象の 業務システム名	No	区分	リフト対象の 業務システム名	No	区分	リフト対象の 業務システム名
1	住民基本台帳	住民記録 DV管理	9	障害者福祉	心療障害者手帳 福祉員	1	共通関係	共通情報 福祉保護	8	その他特定関係	汎用台帳 汎用調定
2	選挙人名簿管理	選挙 住民投票			日常生活用具 障害福祉サービス等			システム管理			9
3	固定資産税	固定資産税	10	後期高齢者医療 後期高齢者医療	自立支援医療	2	団体内統合宛名	団体内統合宛名	10	給付金関係	特別定額給付金 プレミアム付商品券
4	個人住民税	住民税			介護保険 介護保険			2			団体内統合宛名
5	法人住民税	法人住民税	11	介護保険	介護保険	3	住民情報関係	総合照会	11	財務会計関係	臨時給付金 財務会計
6	軽自動車税	軽自動車税	12	児童手当	児童手当			印鑑登録			財務会計
7	国民健康保険	国民健康保険料	13	生活保護	生活保護	4	税務情報関係	宛名管理	12	人事給与関係	給与管理 給与管理
		国民健康保険料	14	健康増進	健康増進			マイナンバーカード管理			給与管理 給与管理
		高齢者教育費	15	教育	教育			記録管理			給与管理 給与管理
		高齢者教育費	16	児童扶養手当	児童扶養手当	5	児童福祉関係	口座 口座	12	人事給与関係	人事管理 職員給与
		高齢者教育費	17	子ども子育て支援	子ども・子育て支援			口座 口座			人事給与関係
8	国民年金	国民年金 年金生活者支援給付金				6	障害福祉関係	障害福祉関係 特別児童扶養手当	13	その他内部事務関係	文書管理
						7	事業関係	事業関係 下水道受益者負担金 瀬川河川占有料			

※『17の基幹業務に付属または密接』の定義が示された場合には、リフト対象業務の見直しを行う想定もごございます。

ガバメントクラウド先行事業(R3~R4年度) - 検証概要



～計画段階の姿～



～本稼働後の姿～

標準準拠システムに予定されている18業務の業務システム

No	18業務システムの区分	リフト対象の業務システム名	No	18業務システムの区分	リフト対象の業務システム名		
1	住民基本台帳	住民記録	10	障害者福祉	心身障害者手帳		
		DV管理			補装具		
2	印鑑登録	印鑑登録			日常生活用具		
		選挙			障害福祉サービス等		
3	選挙人名簿管理	国民投票			自立支援医療		
		固定資産税			固定資産税	11	後期高齢者医療
5	個人住民税	住民税			12	介護保険	介護保険
6	法人住民税	法人住民税			13	児童手当	児童手当
7	軽自動車税	軽自動車税			14	生活保護	生活保護
8	国民健康保険	国民健康保険資格			15	健康管理	健康管理
		国民健康保険賦課	16	就学	教育		
		高額療養費	17	児童扶養手当	児童扶養手当		
		国保療養費	18	子ども子育て支援	子ども・子育て支援		
9	国民年金	高額介護合算					
		国民年金					
		福祉年金					
		年金生活者支援給付金					

その他の業務システム

No	区分	リフト対象の業務システム名	No	区分	リフト対象の業務システム名
1	共通関係	共通情報	8	その他調定関係	汎用台帳
		機密保護	汎用調定		
		システム管理	9	被災者支援関係	被災者支援
		連携共通等	子育て世帯臨時特別給付金		
2	団体内統合宛名	申請管理 (R5.1.1~)	10	給付金関係	特別定額給付金
		団体内統合宛名	プレミアム付商品券		
		窓口案内	臨時給付金		
		総合照会	11	財務会計関係	財務会計
宛名管理	起債管理				
3	住民情報関係	マイナンバーカード管理	12	人事給与関係	契約管理
		収納消込			備品管理
		口座			人事管理
		滞納整理			職員給与
4	税務情報関係	申告受付	13	その他内部事務関係	臨時職員
		ひとり親医療			消防団管理
5	児童福祉関係	子ども医療	13	その他内部事務関係	会計年度任用職員
		重心医療			給食費管理 (R6.4.1~)
6	障害福祉関係	特別児童扶養手当	7	事業関係	※No.13「文書管理システム」は令和4年11月30日までの導入のため、リフト対象外とする。
		公営住宅			
		下水道受益者負担金			
		道路河川占有料			

オールインワン
パッケージシステム
～全56業務稼働～

➤ 環境構成

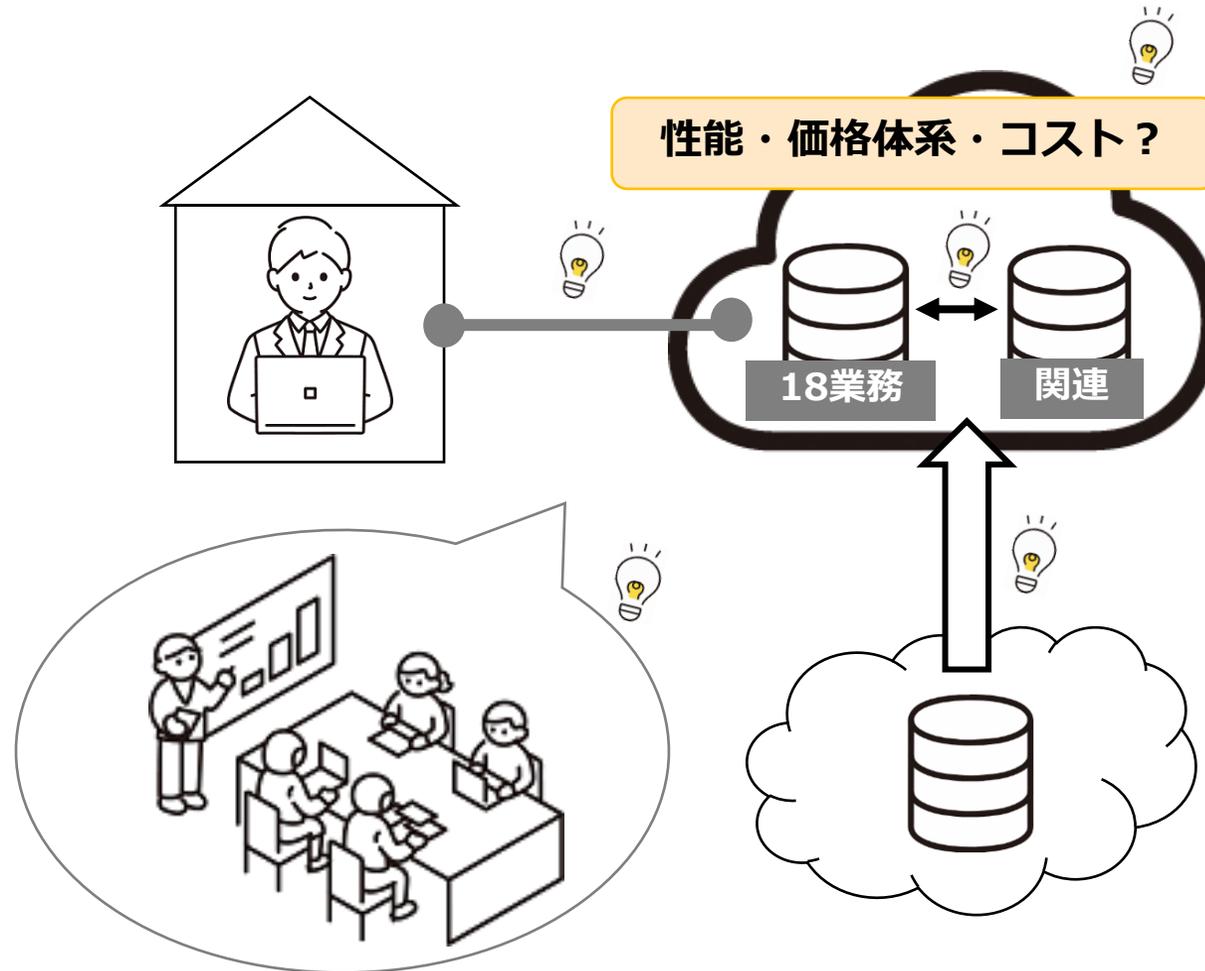
- ・ CSPの選定
- ・ 関連システムとの連携
- ・ ガバメントクラウドへの接続

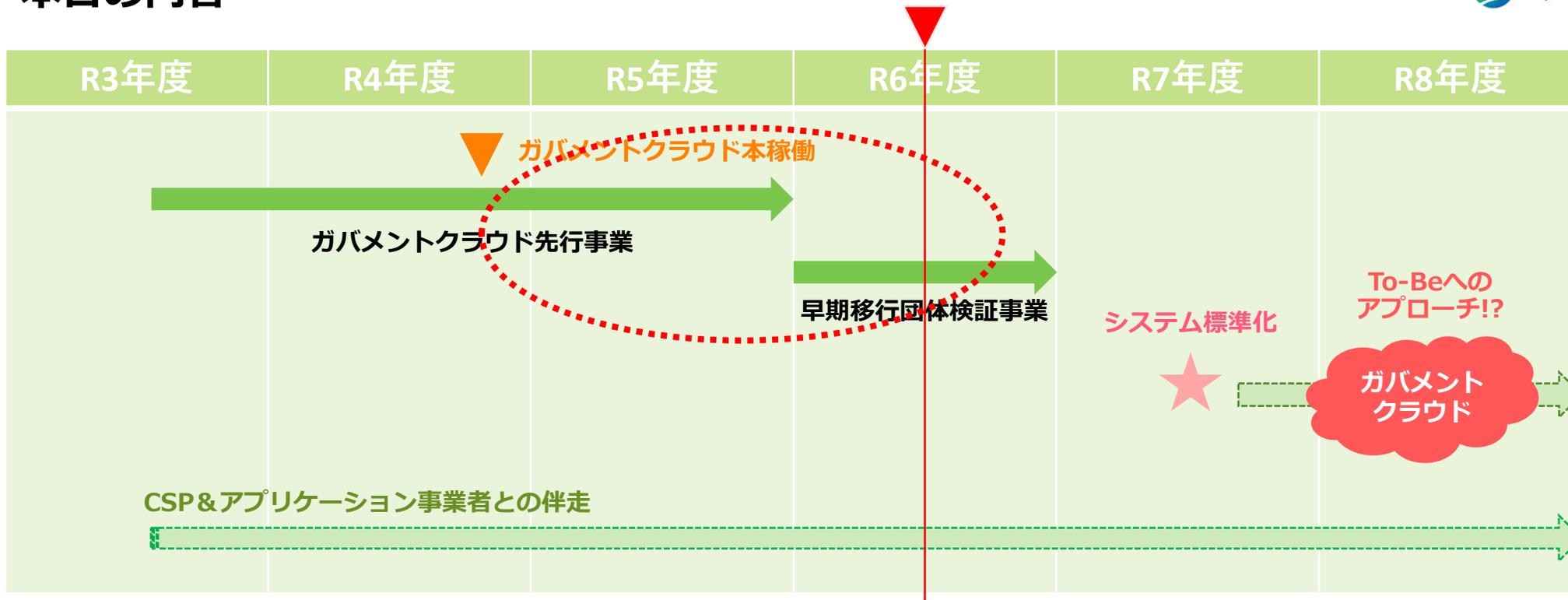
➤ リフト・シフト作業

- ・ データ移行
- ・ 運用テスト
- ・ ベンダーとの協議や調整

➤ 庁内連携

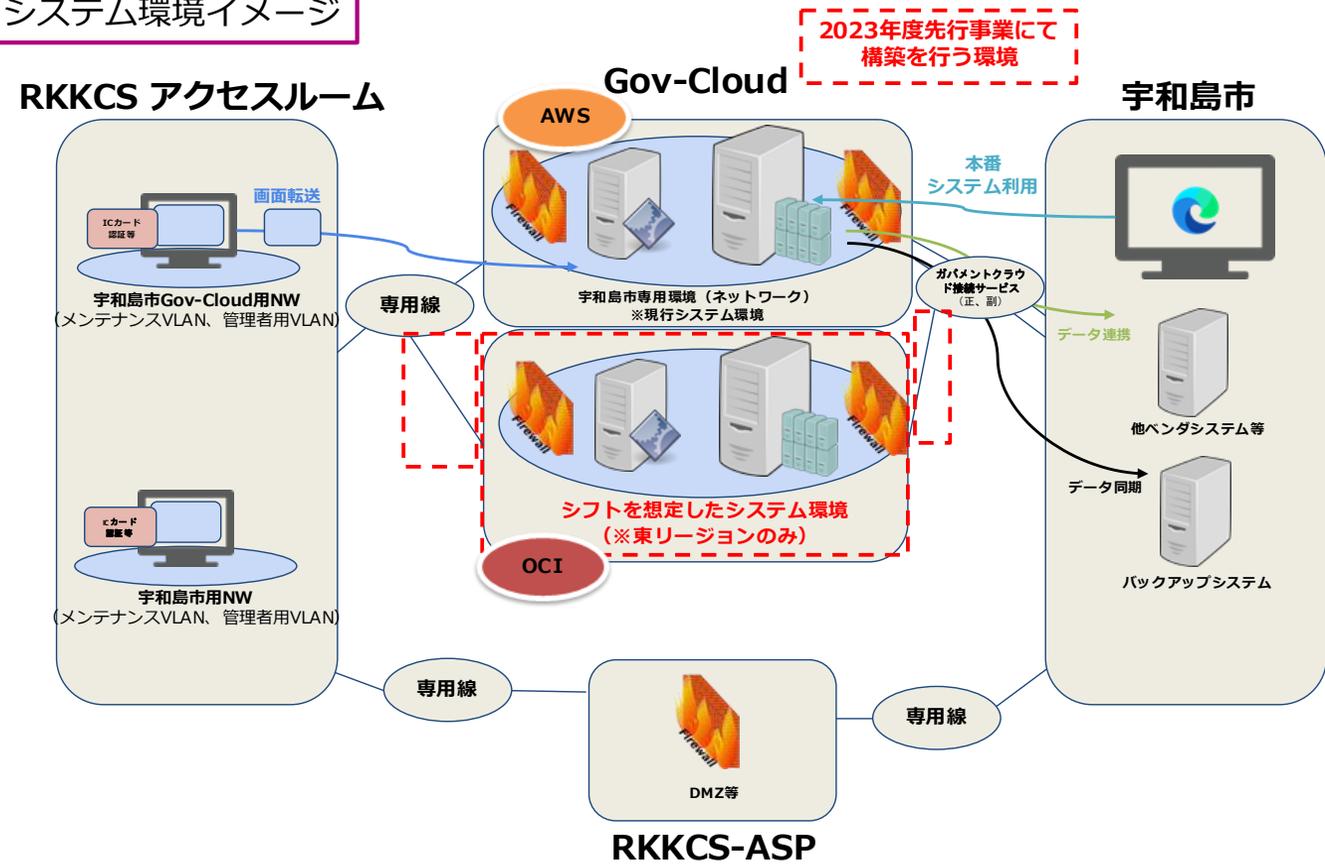
- ・ 組織的なシステム標準化の目的意識
- ・ 情報システム担当部署と各業務システム担当部署間の連携体制の確立





1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介（R3～R4年度ガバメントクラウド先行事業）
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. CSP事業者に期待すること
5. ガバメントクラウドに期待すること（付加価値をどのようにして高めていくか）

システム環境イメージ



将来的なOCI環境上での業務システムの本稼働を見据えたCSP間の移行検証の実施

- 一部業務システム（住民記録システムを想定）のシフト計画の策定（AWSからOCIへのシフト工程や手順の確立を目指す）
- 一部業務システム（住民記録システムを想定）のシフト検証（住民記録システムのデータ移行作業やガバメントクラウド接続サービスを介した連携における課題抽出、手法の確立を目指す）

A-2. 宇和島市

団体基本情報

ベンダー	RKKCS
CSP	AWS
利用方式	共同利用方式
人口	68,430人(令和6年2月1日時点)

シフト移行情報

移行対象業務	住民記録
移行パターン	Rebuild
移行手法	再構築

リスク・課題分析情報

リスク・課題	対策内容
OCI、AWS間のデータベース連携可否について、検証の結果不可となった場合、別手法の検討が必要となる。	不可能であった場合、ファイル連携に切り替える。
既存環境からOCIへのデータ移行、取込に時間を要し、予定スケジュール期間内に切替が完了しないリスク	データを差分同期し、同期処理時間の削減を図る。処理時間の実績から、移行スケジュールを検討する。
データ移行時の文字変換にかかる処理時間のリスク 移行プログラムのロジックによっては、現行システムの文字をMJ+に変換する際に大きな時間を要してしまう。	文字変換プログラムを改修し処理時間の軽減を図る。

R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察 – 投資対効果検証

- 宇和島市のランニングコストは、**約31百万円増加 (+8%)** している。
- 現行のデータセンター（ハードウェア共有）では、「ソフトウェア借料」（ASP利用料）に、「システム運用作業」、「データセンター利用費」、「通信回線費」、「クラウド利用経費」などが内包されている。
- 「ソフトウェア借料」について、ガバメントクラウドへの移行したことで**逡減（約120百万円、-29%）**した一方、「通信回線費（約30百万円、+7%）」及び「クラウド利用経費（約121百万円、+29.3%）」は**費目替えとなり増加**となっている。
- なお、庁内にディザスタリカバリやプールサーバ等を設置しており、ガバメントクラウドへ移行後においても同規模の「ハードウェア借料」及び「ハードウェア保守費」が発生する。

※ () 内の値は、コストAのランニングコスト計に対する増減率。

【宇和島市の経費項目ごとの増減】

(単位：円)

		コストA	コストB	コスト差異 (B-A)	増減率
作業費	システム運用作業	0	0	0	0%
	ハードウェア保守作業	0	0	0	0%
	その他外部委託費	0	0	0	0%
作業費計		0	0	0	0%
物品費	ハードウェア借料	13,200,000	13,200,000	0	0%
	ハードウェア保守費	7,260,000	7,260,000	0	0%
	ソフトウェア借料	392,640,000	272,460,000	-120,180,000	-31%
	ソフトウェア保守費	0	0	0	0%
	データセンター利用費	0	0	0	0%
	通信回線費	0	30,420,000	30,420,000	純増
	クラウド利用経費(円)	0	120,884,757	120,884,757	純増
物品費計		413,100,000	444,224,757	31,124,757	8%
ランニングコスト計		413,100,000	444,224,757	31,124,757	8%

通信回線費の増加要因（詳細）と削減見込み

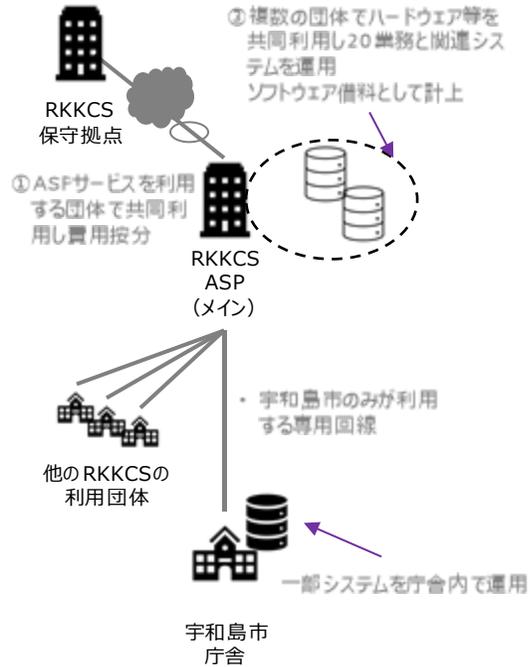
- 現行利用中のシステムと先行事業で利用中の保守回線の費用按分有無の違い
 - ① 現行利用中の保守回線は、共同利用していることにより費用按分ができています
 - ② 先行事業の保守回線は、現時点で宇和島市のみの利用を想定した試算になっており費用按分が考慮されていない
→【今後は当該保守回線の共同利用を見込んでおり、複数団体に費用按分となることで費用逡減が可能と想定】

クラウド利用経費の増加要因（詳細）と削減見込み

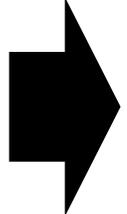
- 現行利用中のシステムとガバメントクラウドの費用按分有無の違い
 - ③ 現行利用中のシステムは、ハードウェア等を可能な限り共同利用しており、複数団体での費用按分ができています
 - ④ 先行事業では、ガバメントクラウド上に構築したシステムについて単独利用を前提とした試算になっているため、費用按分が考慮されていない
 - ⑤ 先行事業では、クラウド最適化未実施の構成にてガバメントクラウド環境への移行しているため費用増となるが、コストメリットを出すためのクラウド環境の最適化の余地があると想定する
→【サーバの稼働時間の見直し、仮想マシンの台数減に向けた改修、仮想マシンのオートスケール等クラウド環境の最適化を進めることでコストメリットを活かし、費用逡減が可能と想定】
→【クラウド最適化によりクラウド利用経費を逡減が可能と想定】

R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察 – 投資対効果検証

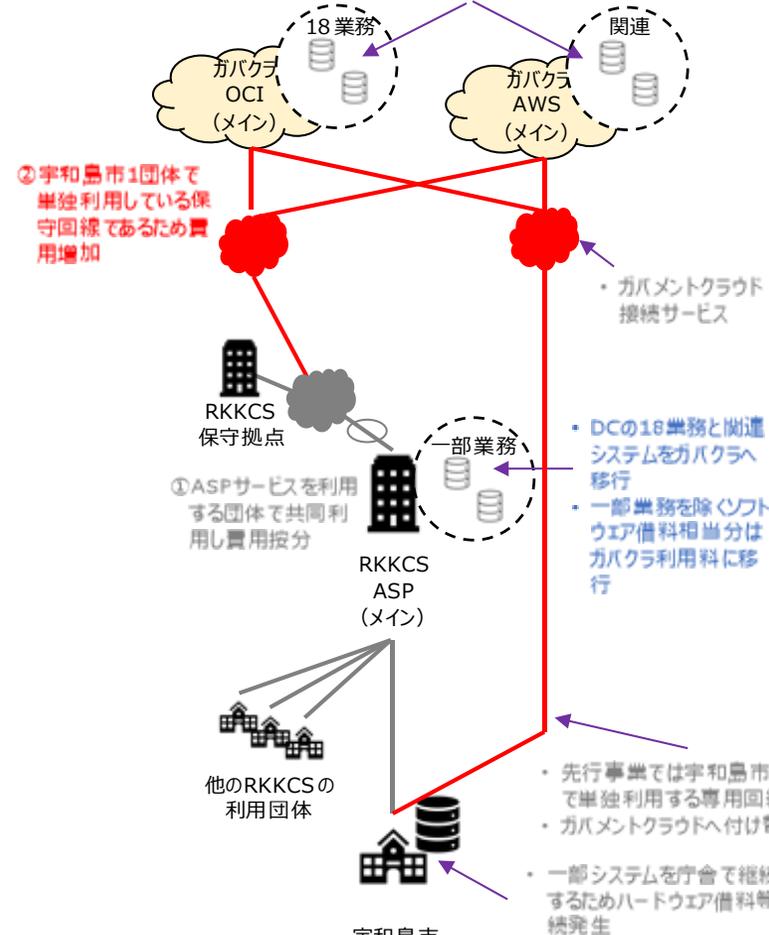
—— 共同利用できず単独負担となる回線
 ○ 共同利用により費用按分している回線



現行環境の全体像
【コスト(A)の全体像】

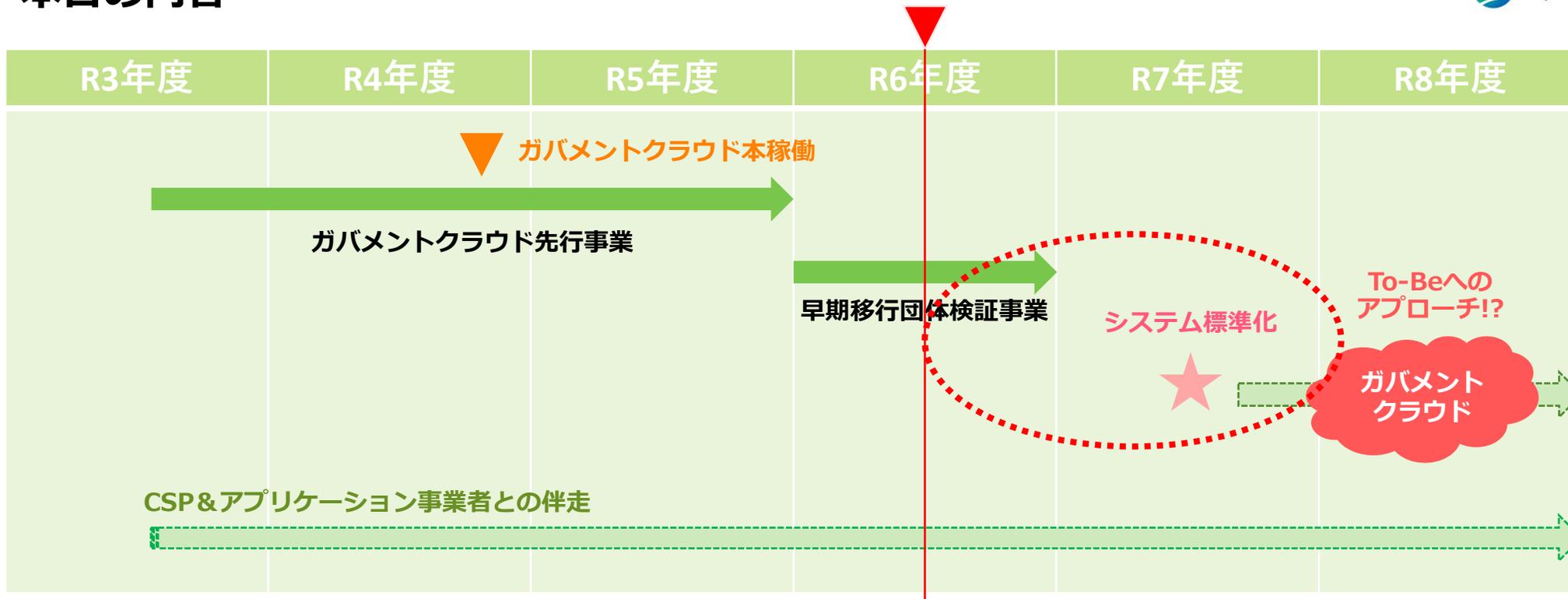


- ④ 先行事業では宇和島市1団体で単独利用
- ⑤ ガバクラウドにリフトしたシステムは、クラウド最適化が十分に行えていないためクラウド利用経費の逡減に至っていない
- ※AWS：宇和島市の単独利用を想定しているため当該環境の共同利用化の想定は無い
- OCI：共同利用を想定しているが、設計中のため個別領域部分のみ試算



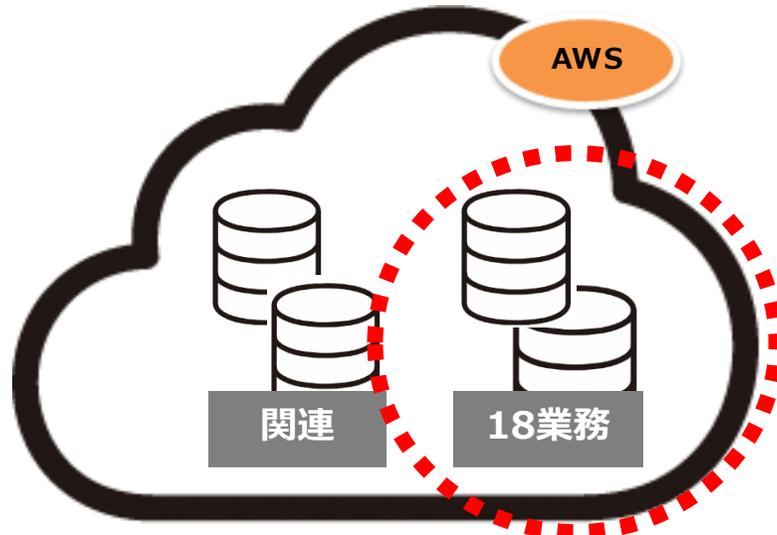
コストAとコストBの差分
 青字：費用逡減の要因
 赤字：費用増加の原因

ガバクラウドにリフトした場合システム全体像
【コスト(B)の全体像】

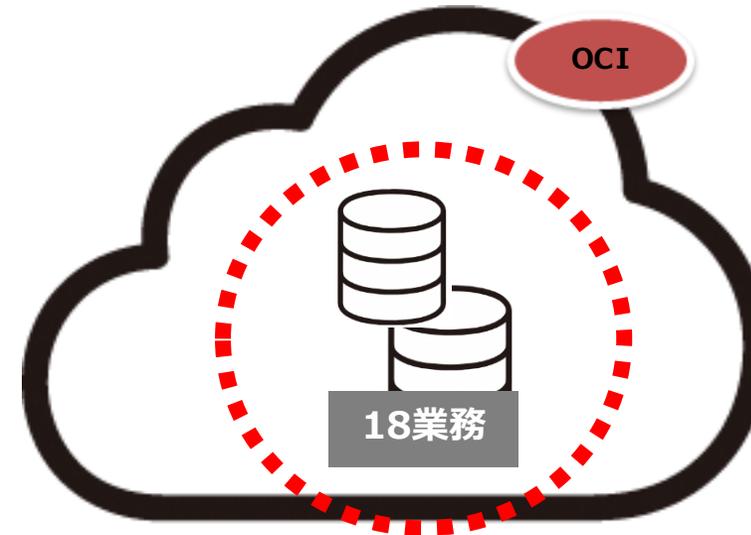


1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介 (R3~R4年度ガバメントクラウド先行事業)
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. CSP事業者に期待すること
5. ガバメントクラウドに期待すること (付加価値をどのようにして高めていくか)

18業務 標準化前
～現在～



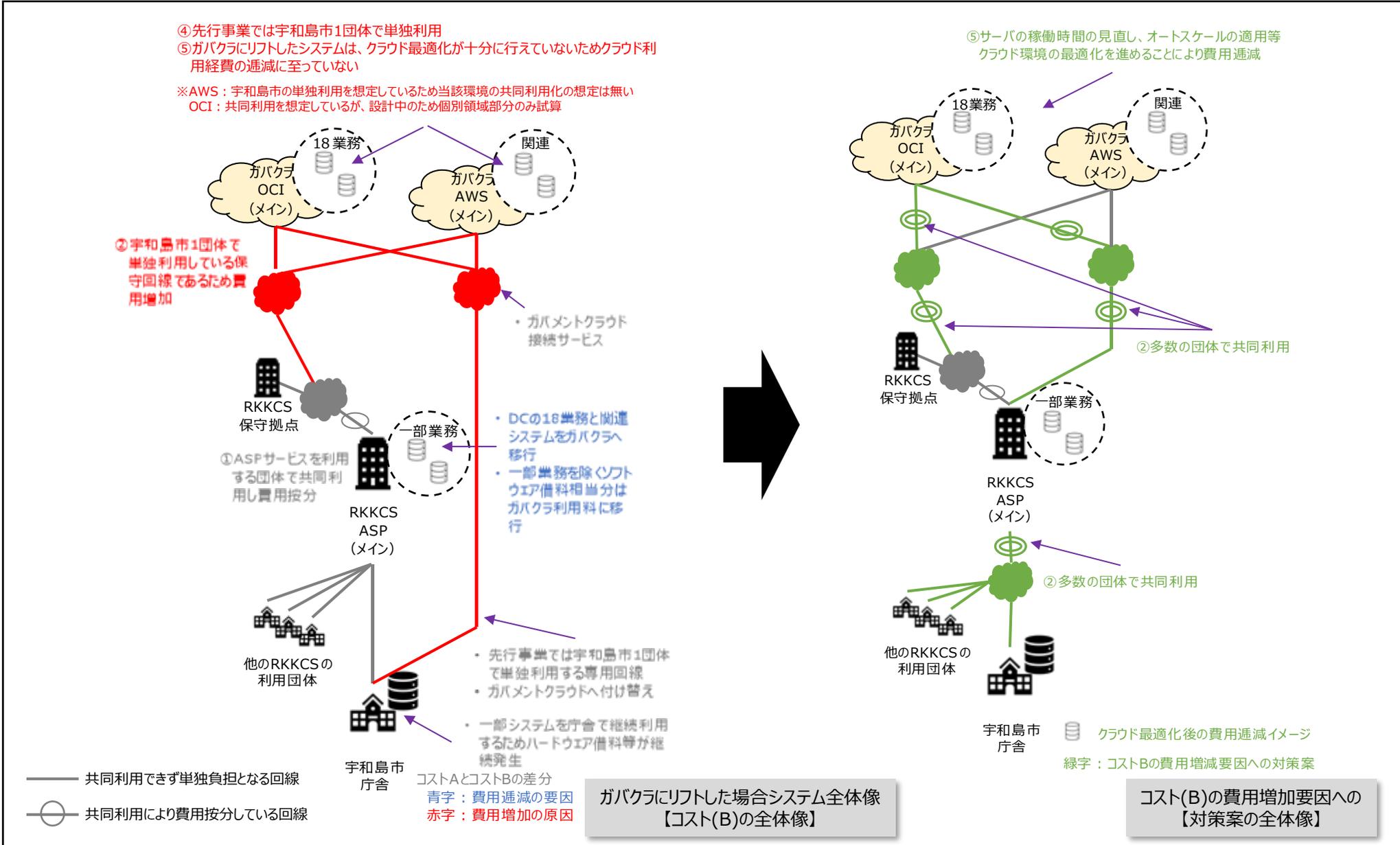
18業務 標準化後
～令和7年度～

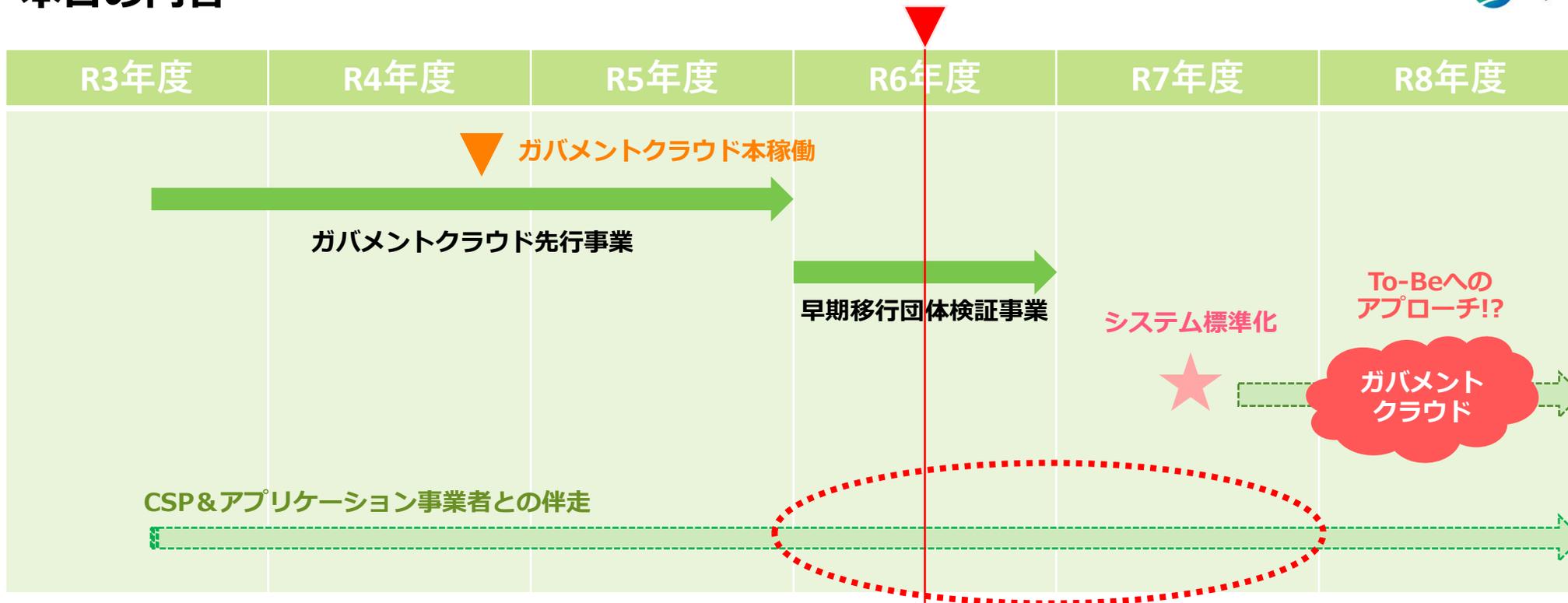


CSPの変更

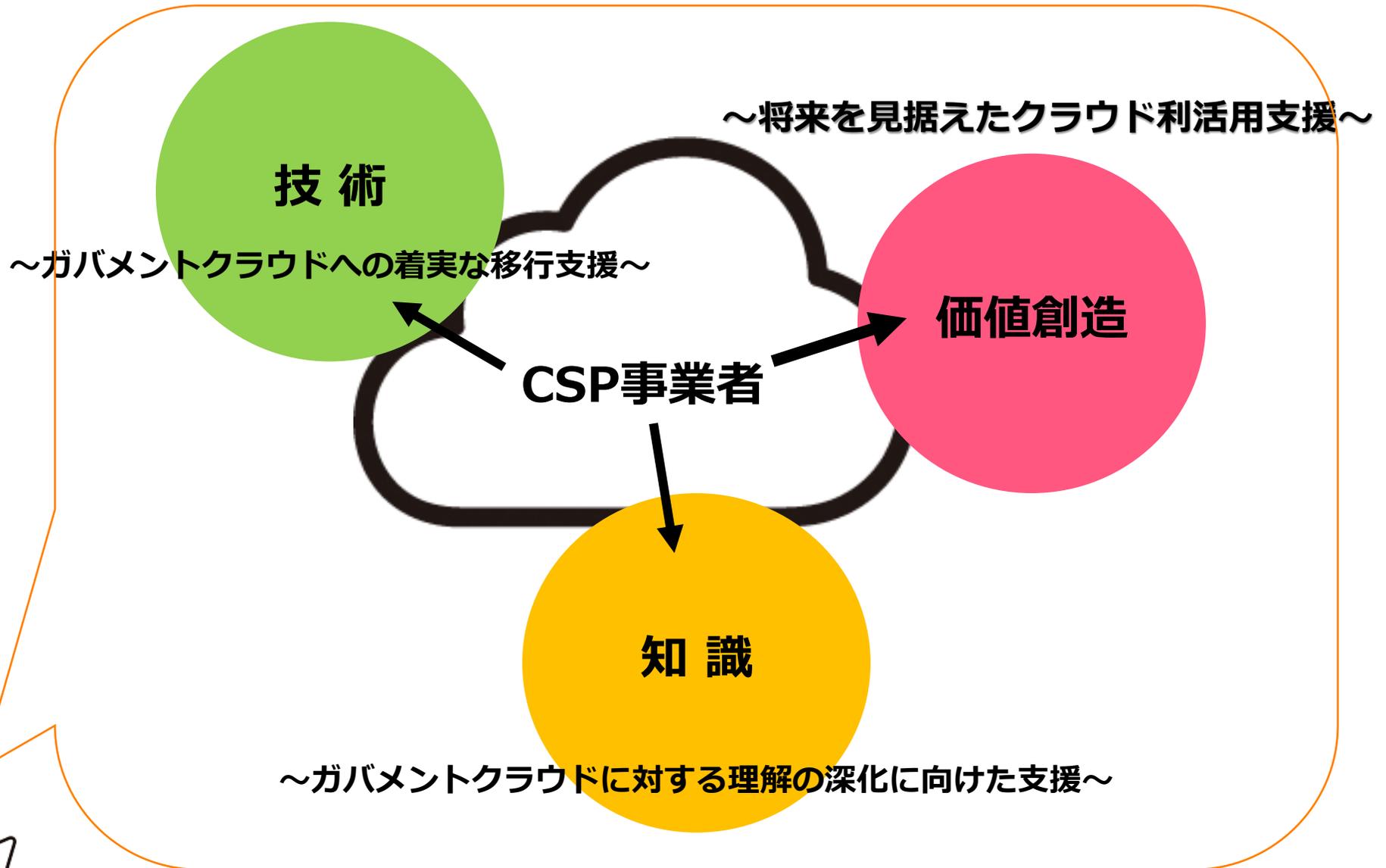


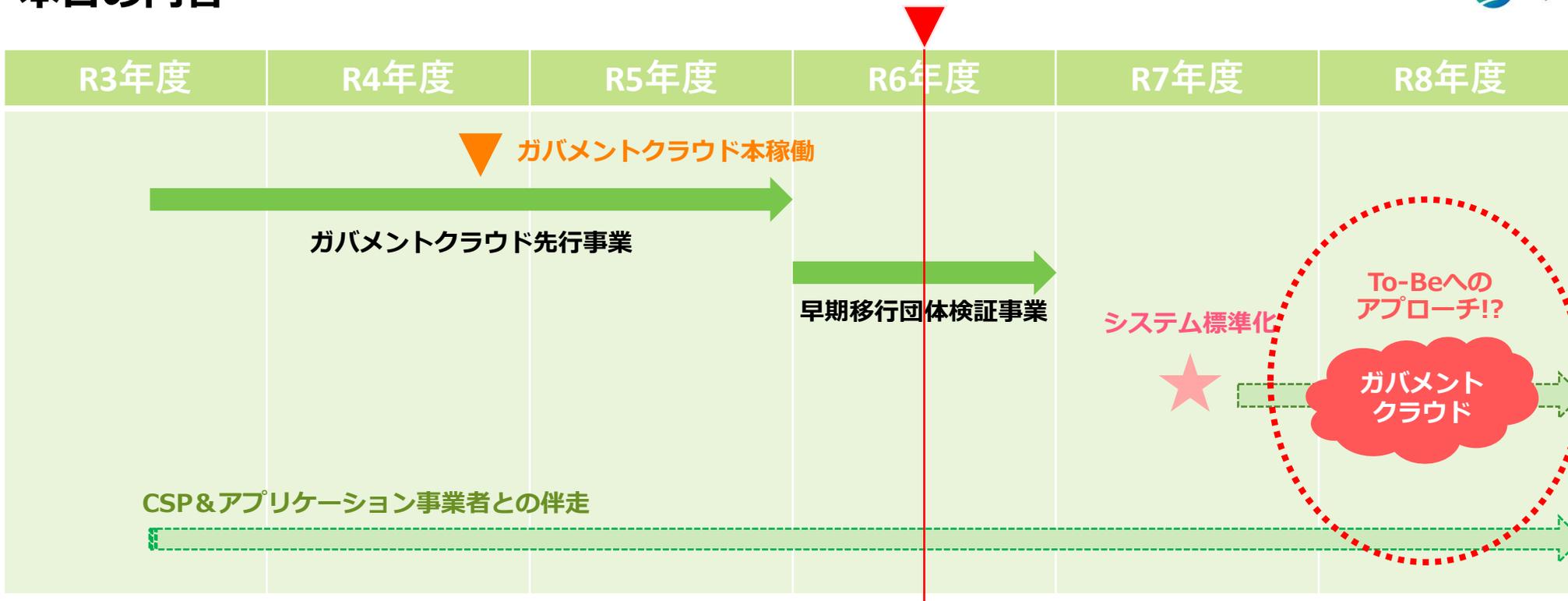
標準準拠システム移行後の姿 – 按分効果への期待





1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介 (R3~R4年度ガバメントクラウド先行事業)
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. **CSP事業者に期待すること**
5. ガバメントクラウドに期待すること (付加価値をどのようにして高めていくか)





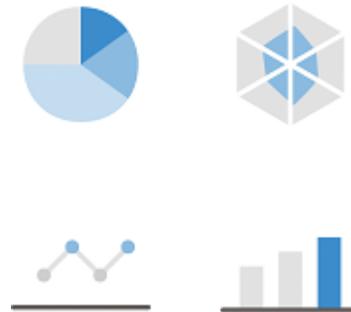
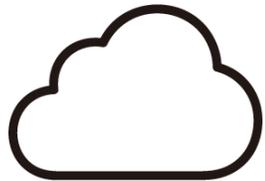
1. 本番環境によるリフト検証の実績紹介（R3～R4年度ガバメントクラウド先行事業）
2. R5年度ガバメントクラウド先行事業の考察
3. 宇和島市における標準準拠システム移行後の姿
4. CSP事業者に期待すること
5. **ガバメントクラウドに期待すること（付加価値をどのようにして高めていくか）**

ガバメントクラウドへの期待 – 付加価値の創出

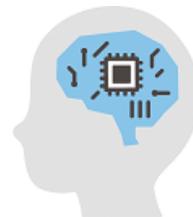
As-Is



セキュリティレベルの向上 / 情報部門の属人化の解消



EBPM (証拠に基づく政策立案) やデータ利活用の推進



次世代型の行政サービスや行政事務の創造に寄与

ご清聴ありがとうございました。



宇和島

ココロまじわうトコロ

本日の内容

1. 日本オラクルのガバメントクラウドに対する取り組み
2. 宇和島市における先行事業の考察とその後の姿 ～CSPの変更～
- 3. ブースのご紹介**

弊社ブースのご紹介

日本オラクルの展示

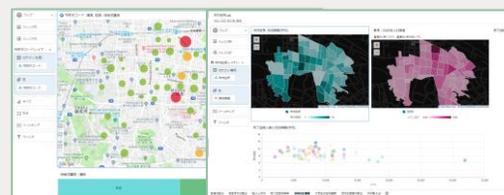
① ガバメントクラウドを支えるOCI

各種ドキュメント配布、相談窓口の設置



② 自治体データで進めるEBPM

庁内データの活用した事例のデモ紹介



※デモ画面イメージ
(左) 地域別の人口密度 可視化画面
(右) 保育施設ごとの待機児童数 可視化画面

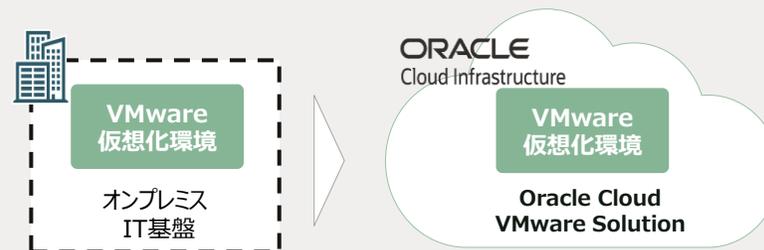
③ 生成AIを活用した自治体DX

チャットボットを活用したシステムのデモ紹介



④ 既存環境のクラウドリフト

オンプレミス環境の低コストで容易な移行方法をご紹介



弊社ブースのご紹介

ブース内ミニシアター

Oracleブース内でも
情報満載なセッションを開催します。

ミニステージ スケジュール (1日目)	
10:00	10:00 - 10:20 OCI概要 日本オラクル株式会社
11:00	10:40 - 11:00 ささらなる行政DX推進に向けて、地方公共団体向けクラウドサービス環境をOCIで強化 日本電気株式会社
11:20 - 11:40	システム標準化/ガバナメントクラウド移行に係る弊社の取り組み 株式会社シーラー
12:00	12:00 - 12:20 OracleとHDCのカバクラソリューション 株式会社HDC
13:00	12:40 - 13:00 OCI見直しツール使い方紹介 日本オラクル株式会社
13:20 - 13:40	事業者間調整の行間を読む！調整の具体事例 株式会社SBS情報システム
14:00	14:00 - 14:20 CC-Dash AI Chatサービス「CChat」のご紹介 株式会社クロスチャット
15:00	C会場にてハンプレ開催！ 14:30 - 15:15 ガバナメントクラウドにおけるデータ・生成AI活用の未来と 宇和島市における先行事業とその後の姿 ~CSPの展望~ 宇和島市
15:20 - 15:40	オラクルクラウドを活用した行政DX TIS北海道株式会社
16:00	16:00 - 16:20 OCIで実現するクラウド接続 BBIX株式会社
17:00	16:40 - 17:00 オラクルの生成AIとAPEXサービス 日本オラクル株式会社

パートナー様ブース

Oracleパートナー様の
展示ブースを設けています。

【出展パートナー様】

BBIX 様
HDC 様
HID 様
トーテックアメニティ 様
TIS北海道 様
クロスキャット 様
NS・コンピュータサービス 様

F1マシン 試乗体験

Red Bull Racing F1マシンの
試乗体験ができます！

走行中や戦略決定の際に
OCIで分析をして活躍している
レーシングカーの運転を体験できます。



オラクルブース



現会場



ORACLE